

2023年度認定こども園春木カトリック幼稚園の教育・保育の職員による自己評価

園名 認定こども園 春木カトリック幼稚園 氏名

職員それぞれの自己評価の割合

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○ 不十分なところがある…▲ 努力が必要 ◎ ○ ▲ ×

No.	チェックシート	評価			
Q1	園の教育・保育理念や目標及び重要事項を理解している。	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
Q2	教育・保育理念及び目標と教育・保育要領の関係を理解し、教育課程、教育・保育の全体的な計画、及び子育ての支援計画に基づいて、指導計画を立てている。	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%
Q3	園児の人権に十分配慮し、園児一人一人の人格の尊重、個人差に配慮した教育・保育を行っている。	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%
Q4	個人情報適切に取り扱うとともに(プライバシーの保護、秘密保持)、保護者からの苦情に対し、その解決を図るよう努めている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
Q5	就業規則などの諸規則を理解し、守り、業務遂行にあたって正確・迅速、かつ、こまめに報告・連絡・相談・確認を実践している。	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
Q6	乳幼児期の教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることを知っている。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
Q7	幼保連携型認定こども園(以下、設問中は「認定こども園」)における教育及び保育は、上記の目的及び目標を達成するため、乳幼児期全体を通して、その特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものとなるように努めている。	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%
Q8	保育教諭等は、園児との信頼関係を十分に築き、園児が自ら安心して身近な環境に主体的に関わり、その活動が豊かに展開されるよう環境を整え、園児によりよい教育及び保育の環境を提供するよう努めている。	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%
Q9	乳幼児期においては生命の保持が図られ安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるよう理解し保育を日々行っているか。	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%
Q10	園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した指導を行うようしている。	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%
Q11	認定こども園は、生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成するものであることを理解している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
Q12	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目について理解している。	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
Q13	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、資質・能力が育まれている園児の認定こども園修了時の具体的な姿であり、その達成に向けて日々保育を行わなければならないということを理解しながら保育をおこなっているか。	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%
Q14	認定こども園においては、教育基本法、児童福祉法、認定こども園法、その他の法令、教育・保育要領の示すところに従い、教育と保育を一体的に提供するため、園児の心身の発達と園、家庭、地域の実態に即した適切な教育及び保育の内容、子育ての支援等に関する全体的な計画を作成しているか。	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
Q15	カリキュラム・マネジメント、つまり全体的な計画の作成、実施計画、評価、反省、改善によって園の教育及び保育活動の質の向上が図られているか。	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
Q16	認定こども園においては、園長の方針の下に、園務分掌に基づき保育教諭等職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら園務を遂行しているか。	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%
Q17	環境は、具体的なねらいを達成するために適切なものとなるように構成し、園児が自らその環境に関わることでより様々な活動を展開しつつ必要な体験を得られるようにしている。	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%
Q18	園児の発達の過程を見直し、園児の生活の連続性、季節の変化などを考慮して、園児の興味や関心、発達の実情などに応じて設定している。	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
Q19	小学校教育との円滑な接続のため、認定こども園の園児と小学校の児童との交流の機会を積極的に設けている。	7.1%	21.4%	57.1%	14.3%
Q20	障害のある園児などへの指導に当たっては、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮し、適切な環境の下で、他の園児との生活を通して共に成長できるよう、個々の園児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行っている。	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
Q21	日常の様々な機会を活用し、園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通じて、保護者との相互理解を図るよう努めている。	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
Q22	アレルギー疾患を有する園児に関しては、保護者と連携し、医師の診断及び指示に基づき、適切な対応を行うとともに、食物アレルギーに関して体制を整え、安全な環境の整備を行っている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
Q23	適切な環境の維持、施設内外の設備、用具等の衛生管理に努め、園児及び全職員が清潔を保つとともに、職員一人ひとりが衛生知識の向上に努めている。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%
Q24	園児が何時間も完食するまで食べさせることやトイレに行かせないことが不適切保育の一つであると理解している。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
Q25	保育者が自ら意識せず、保育者の都合で進める保育や園児の気持ちを置き去りにする保育が不適切保育に繋がるということを理解している。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
Q26	園児に対して厳しい口調・脅迫的な言葉で指導する事や、保育室から一人の児を廊下へ出し指導する事が不適切保育であると理解している。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%
Q27	園児に物事を強要するような関りが不適切保育であることを理解している。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
Q28	子ども自身が大切な存在と感ずることができるよう関りに常に配慮しながら行っている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
Q29	園児の1人ひとりの人権を十分理解し、人格を大切に尊重して保育を行っている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
Q30	子どもひとり一人の人格を尊重しない関わりや育ちや家庭環境を考慮しない関わりが不適切保育であると理解している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
Q31	認定こども園における食育は、健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向け、園児が生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食を楽しむ、食事を楽しみ合う園児に成長していくことを期待するものであることを理解し指導している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%

Q32	認定こども園は主幹保育教諭を中心とした「子育ての支援」が必須であることを知っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
Q33	認定こども園として、地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する子育ての支援の総合的な提供を推進するため、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的な役割を果たすよう努めることを知っている。	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%
Q34	海外から帰国した園児や生活に必要な日本語の習得に困難のある園児については、安心して自己を発揮できるよう配慮するなど個々の園児の実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行っている。	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
Q35	事故防止の取組を行う際には、特に、睡眠中、プール活動・水遊び中、食事中等の場面では重大事故が発生しやすいことを踏まえ、園児の主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じている。	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
Q36	危険等発生時対処要領に基づき、事故の発生に備えるとともに施設内外の危険箇所の点検や訓練を実施し、また、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など不測の事態に備え必要な対応を行っている。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%
Q37	火災や地震などの災害の発生に備え、危険等発生時対処要領を作成する際には、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等の事項を盛り込み、定期的に避難訓練を実施するなど、必要な対応を図っている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
Q38	災害の発生時に、保護者等への連絡および子どもの引き渡しを円滑に行うため、日頃から保護者との密接な連携に努め、連絡体制や引き渡し方法等について確認をしている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
Q39	日常の様々な機会を活用し、園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通じて、保護者との相互理解を図るよう努めている。	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
Q40	カトリックの精神を理解し、教育理念を常に心にとめ、カトリックの精神に基づいた心と理性の教育に努めている。	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%